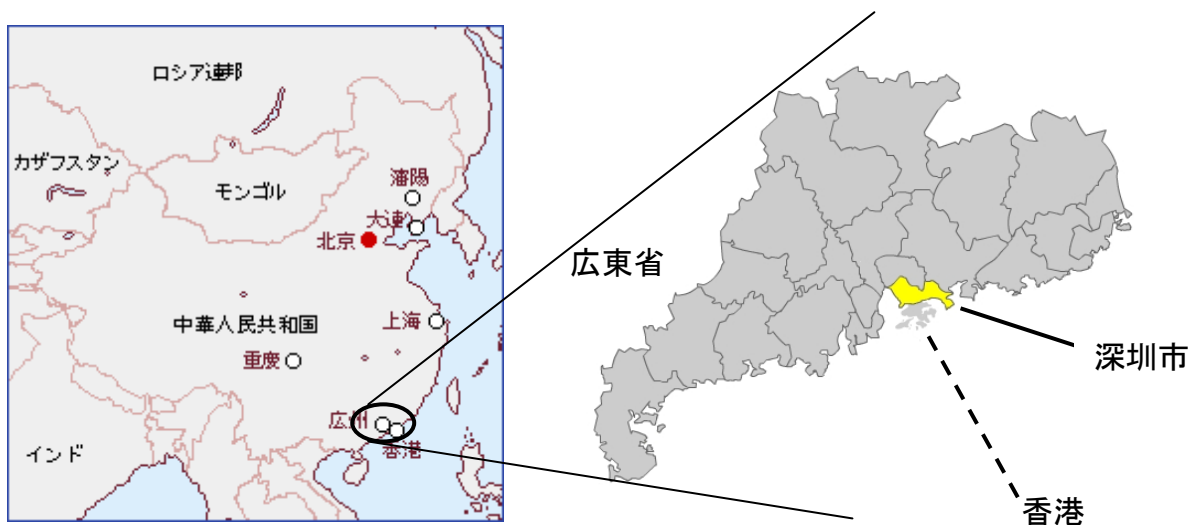


11月1日（月）

○ 深圳市の概要と大阪市との関係

- ・ 深圳市は、中華人民共和国広東省に位置しており、香港と隣接する都市です（人口は約1,200万人、面積は約1,952 k m²）。
- ・ 中国初の経済開放改革の試験地として、1980年に市内の一部が経済特別区に指定されており、その後、17年連続で中国第1位の輸出量を誇るなど、大きな経済発展を果たしています。
- ・ 大阪市との主な関係としては、平成22年7月に平松市長と佐藤大阪商工会議所会頭をはじめとする一行が深圳市を訪問し、友好的協力と交流に関する覚書を締結しました。さらに、同年10月には、約30社の深圳市内企業を含む経済貿易交流団が大阪市の招聘で来阪し、大阪商工会議所との共催で大阪市内企業との商談会を実施しました。



○ 深圳市地鉄有限公司 訪問

林 茂徳 社長、王 敏遠 副社長、他

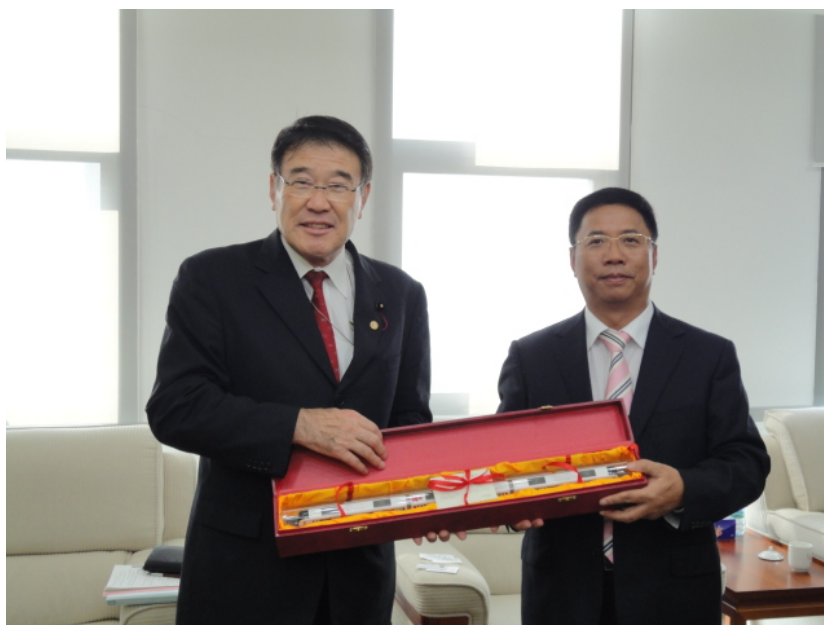
深圳市地鉄有限公司を訪問し、林 茂徳 社長、王 敏遠 副社長と意見交換を行いました。

【概要】

双方の地下鉄及びバスの現状等について意見交換を行いました。

私からはバス事業にかかる赤字の対応として、地下鉄との乗換え・乗り継ぎ等、繋げていくことが重要と考えている旨の説明をいたしました。

深圳市地鉄有限公司林社長からは、深圳市も同じ課題を抱えており、自分たちの先生である日本から、乗り換え時のネットワークの重要性についても学びたいと考えていますとの説明を受けました。さらに、大気汚染の関係で、地下鉄利用を更に高めて、現在、1日7～800万人が利用しているバスの利用を引き下げて行きたいという方針をお聞きしました。



林 茂徳 社長と意見交換

また、深圳市においても、大阪の PITAPA 同様の制度が導入されており、高齢者への優待制度も実施していますとの説明を受けました。

意見交換の後、地下鉄に二駅間試乗いたしました。ラッシュ時を過ぎていたこともあってか、利用客は多くはありませんでした。駅の施設は、通路その他もゆったりとしておりました。将来的に利用率が大きく向上した場合にも、十分対応できるであろうと感じました。



深圳市地下鉄の風景

- 深圳ツムラ薬業有限公司（株式会社ツムラのグループ会社） 訪問
星 洋 チェアマン、劉 玉徳 社長、他

中国に進出している株式会社ツムラのグループ会社である深圳ツムラ薬業有限公司を訪問し、星 洋 チェアマン、劉 玉徳 社長と意見交換を行いました。



深圳ツムラ薬業有限公司 訪問

【概要】

漢方薬で有名な株式会社ツムラの中国での展開を含めた会社概要の説明を受けました。

農民自らが組織する農民專業合作社（昔の人民公社とは関係なく、日本で言えば農協に近い組織であるとお聞きしました。）で、統一農薬、統一仕様で栽培しており、品質管理では妥協することなく厳しく進めておりますとの説明を受けました。あわせて、ここツムラでは、劉社長が現場とコミュニケーションを上手く取ってくれていることもあり、他の日系会社の一部で見られるようなストライキは今のところ起きていない旨をお聞きしました。

意見交換・説明の後、薬草の品質検査、選別作業の工程等、工場見学を行いました。



深圳ツムラ薬業有限公司にて 概要説明と工場見学

- 華為技術有限公司 訪問
(Huawei Technologies Co., Ltd (ファーウェイ・テクノロジーズ))
郭 天民 副総裁、盧 軍勇 マネジャー、他

華為技術有限公司（ファーウェイ・テクノロジーズ）を訪問し、郭 天民 副総裁、盧 軍勇 マネジャーと意見交換及び視察を行いました。